

科目名	手話 2							年度	2026
英語科目名	Sign language 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	村越啓子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学講師		

【科目の目的】

手話を通じてろう文化を学ぶことで柔道整復師として幅広く国民の健康福祉に寄与することを目的とする。

【科目の概要】

日本手話実技とろう文化を学びます。

【到達目標】

日本語とは異なる独自の体系をもつ言語である日本手話を理解し、探求する力を身につけるために、1つ目に手話のごく限られた要素とその組み合わせ方といったしくみである音韻構造を理解する。2つ目に文を作る時のしくみを知ることが重要であり、日本手話の文法を理解する。3つ目に聴者では適切な行動だと思われることが、聾文化において不適切だと思われる行動があることを理解することを到達目標とする。

【授業の注意点】

日本手話では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、聾文化への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	指文字について完全に理解している。	指文字について大体理解している	指文字について部分的に理解している。	指文字について理解がやや不足している。	指文字について理解していない。
到達目標 B	食事について相手に手話で正しく伝えることができる。	食事について相手に手話で大体伝えることができる。	食事について相手に手話で部分的に伝えることができる。	食事について相手に手話で伝える知識がやや不足している。	食事について相手に手話で伝えることができない。
到達目標 C	スポーツについて相手に手話で正しく伝えることができる。	スポーツについて相手に手話で大体伝えることができる。	スポーツについて相手に手話で部分的に伝えることができる。	スポーツについて相手に手話で伝える知識がやや不足している。	スポーツについて相手に手話で伝えることができない。
到達目標 D	旅行について相手に手話で正しく伝えることができる。	旅行について相手に手話で大体伝えることができる。	旅行について相手に手話で部分的に伝えることができる。	旅行について相手に手話で伝える知識がやや不足している。	旅行について相手に手話で伝えることができない。
到達目標 E	病気や怪我について相手に手話で正しく伝えることができる。	病気や怪我について相手に手話で大体伝えることができる。	病気や怪我について相手に手話で部分的に伝えることができる。	病気や怪我について相手に手話で伝える知識がやや不足している。	病気や怪我について相手に手話で伝えることができない。

【教科書】

教科書（はじめての手話一生活書院改訂新版一）に準拠する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

定期試験と課題、授業時間内に行われる発表方法・内容にて評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		手話2			年度	2026
英語表記		Sign language 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	食習慣について	食事について話せるようにする。	1 朝食、昼食、夕食	三食について表現できる。	3	
			2 自炊/外食	自炊なのか外食なのかを表現できる。		
			3 飲み物・食べ物	飲み物や食べ物について表現できる。		
2	スポーツについて	スポーツについて話せるようにする。	1 経験の有無	スポーツ経験の有無について表現できる。	3	
			2 始めた時期	スポーツを始めた時期について表現できる。		
			3 スキルの程度	スキルについて表現できる。		
3	旅行について	国内の旅行経験について話せるようにする。	1 旅行の目的	旅行の目的について表現できる。	3	
			2 1人/友人/家族	誰と行ったか、一人での旅行かを表現できる。		
			3 都道府県	どこに行ったのかを表現できる。		
4	病気・怪我①	病気・怪我について話せるようにする。	1 主な病名と原因	病名やその原因について表現できる。	3	
			2 ケガや病気の部位	傷病部位を表現できる。		
			3 入院/退院	入院や退院について表現できる。		
5	乗り物について	乗り物について話せるようにする。	1 自動車/バイク/自転車	自動車、バイク、自転車について表現できる。	3	
			2 新車/中古車	新車や中古車について表現できる。		
			3 免許の有無	運転免許の有無について表現できる。		
6	乗り物について	乗り物について話せるようにする。	1 免許取得の予算	免許取得の予算について表現できる。	3	
			2 免許取得予定	免許取得の予定について表現できる。		
			3 車両購入の予定	車を購入する予定を表現できる。		
7	電話やスマホについて	電話やスマホについて話せるようにする。	1 メーカー名	メーカー名について表現できる。	3	
			2 使用頻度と目的	どういう目的でどのくらい使用しているかを表現できる。		
			3 費用等	費用はいくらだったかを表現できる。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 食習慣について	自分の食習慣について相手に伝えることができる。	3	
			2 スポーツについて	自分の得意なスポーツについて相手に伝えることができる。		
			3 旅行について	自分の旅行経験について相手に伝えることができる。		
9	動物・干支について	動物や干支について話せるようにする。	1 干支	十二支を表現できる。	3	
			2 ペット	ペットについて表現できる。		
			3 飼育方法等	飼育の方法について表現できる。		
10	休みの過ごし方	年末年始の過ごし方について話せるようにする。	1 大晦日/正月	大晦日や正月について表現できる。	3	
			2 初詣	初詣を表現できる。		
			3 大掃除	大掃除を表現できる。		
11	学校について	学校生活について話せるようにする。	1 キャンパス	キャンパスについて表現できる。	3	
			2 建物	学校の建物について表現できる。		
			3 環境	学校環境について表現できる。		
12	病気・怪我②	包帯・テーピングや注意について言えるようにする。	1 包帯の巻き方	包帯の巻き方について表現できる。	3	
			2 テーピングの巻き方	テーピングの巻き方について表現できる。		
			3 助言の仕方	包帯やテーピングの助言について表現できる。		
13	復習	干支から病気やけがについて言えるようにする。	1 干支	十二支について相手に伝えることができる。	3	
			2 学校	学校のことを相手に伝えることができる。		
			3 包帯の巻き方	包帯の巻き方について相手に伝えることができる。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 動物・干支について	動物や干支について相手に伝えることができる。	3	
			2 休みの過ごし方	休みの過ごし方について相手に伝えることができる。		
			3 学校について	学校のことを相手に伝えることができる。		
15	手話1・2のまとめ	1年間の講義の振り返り。	1 自己紹介	手話で自己紹介ができる。	3	
			2 嗜好品や食習慣	手話で嗜好品や食習慣について相手に伝えることができる。		
			3 病気・怪我	手話で病気や怪我のことを相手に伝えることができる。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等